

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	情報リテラシー	英文名	Information literacy				学科科目 番号	1101
担当者	平石 明香	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	よくわかる Microsoft Word 2021 & Microsoft Excel 2021 Office 2021／Microsoft 365 対応（FOM 出版）							
担当者の 実務 経験	ソフトウェア開発会社で S E、P G。独立後ソフトウェア開発や Web サイトの作成、講師など。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） ビジネスシーンで必須のアプリケーションである Excel の操作や機能を演習と課題を通じて身に付ける。								
【授業計画】			コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）		
1	Excel の概要		1					
2	〃		2					
3	〃		3					
4	データを入力しよう		4					
5	〃		5					
6	〃		6					
7	表を作成しよう		7					
8	〃		8					
9	〃		9					
10	グラフを作成しよう		10					
11	〃		11					
12	〃		12					
13	データを分析しよう		13					
14	アプリ間でデータ連携をしよう		14					
15	期末課題		15					
授業方法 （授業の進め方）		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		Excel の基本的な機能が使える。						
成績評価の 方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト、提出物：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	コンピュータ概論	英文名	Computer Introduction				学科科目 番号	1102
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	コンピュータ概論（ウイネット）							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） コンピュータの構造や基礎理論、情報システムのマネジメントなどについて、基本情報処理技術者合格レベルの知識を身につける学習内容である。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1	コンピュータの基礎知識		1					
2	〃		2					
3	〃		3					
4	〃		4					
5	コンピュータの数値表現		5					
6	〃		6					
7	〃		7					
8	〃		8					
9	〃		9					
10	ハードウェア		10					
11	〃		11					
12	〃		12					
13	〃		13					
14	〃		14					
15	期末試験		15					
授業方法 （授業の進め方）		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		情報処理技術者 基本情報技術者試験レベルの知識と技能を身につけることを目標とする。						
成績評価の 方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		コンピュータの仕組みをしっかりと習得すること。 提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	アルゴリズム	英文名	Algorithm				学科科目 番号	1103
担当者	平石 明香	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）		後期： 時間（回数： 回）		単位数	2 単位	
教材 教具	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造（ウイネット）							
担当者の 実務 経験	ソフトウェア開発会社でS E、P G。独立後ソフトウェア開発やWeb サイトの作成、講師など。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） 問題を解くための計算法であるアルゴリズムについて、それを理解する素質と、代表的なアルゴリズムについての知識を得る。また、アルゴリズムを利用して、具体的に問題解決を行うための力を、数値解析の遂行なども取り入れつつ、身につける。さらに、コンピュータの機能と、プログラミングに関する見識を深める。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	イントロダクション アルゴリズム入門			1				
2	流れ図の基本パターン			2				
3	疑似言語の基本パターン			3				
4	計算のアルゴリズム			4				
5	〃			5				
6	配列操作			6				
7	〃			7				
8	探索のアルゴリズム			8				
9	〃			9				
10	整列のアルゴリズム			10				
11	〃			11				
12	データ構造			12				
13	実践アルゴリズム			13				
14	〃			14				
15	期末試験			15				
授業方法 （授業の進め方）		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		情報処理技術者 基本情報技術者試験レベルの知識と技能を身につけることを目標とする。						
成績評価の 方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		代表的なアルゴリズムを論理的に理解し、応用できるようにする。 提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の 1 単位時間は 45 分とする

科目名	ネットワーク基礎	英文名	Basic Network				学科科目 番号	1104
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	1 単位
教材 教具	システム開発技術（ウイネット）							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） コンピュータネットワークの歴史、変遷からプロトコルの標準化、そして現在一般的に使われている TCP/IP を中心とした基本的な知識を学習する。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1	ネットワーク方式		1					
2	〃		2					
3	OSI 基本参照モデル		3					
4	〃		4					
5	TCP/IP プロトコル		5					
6	〃		6					
7	IP アドレス		7					
8	〃		8					
9	ネットワーク管理		9					
10	〃		10					
11	TCP/IP アプリケーション		11					
12	〃		12					
13	ネットワーク応用技術		13					
14	〃		14					
15	期末試験		15					
授業方法 (授業の進め方)	教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。							
到達目標	情報処理技術者 基本情報技術者試験レベルの知識と技能を身につけることを目標とする。							
成績評価の 方法と基準	期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。							
授業時間以外に 必要な学修	コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。							
履修に当たって の留意点	特に TCP/IP についてしっかり学習すること。 提出物は指定期日までに必ず提出すること。							

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	データベース基礎	英文名	Basic Database				学科科目 番号	1105
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）			単位数	1 単位	
教材 教具	システム開発技術（ウイネット）							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】科目のねらい（目的） データベースシステム、特にリレーショナルデータベース(RDB)システムに関する基礎的な知識とその応用システムについて習得をする。さらに情報検索システムの動作原理についても学習をする。まずデータベースとは何か、なぜ必要かを理解し、RDB 理論の基礎を学び、続いて RDB の問い合わせ等に用いられる SQL 言語に関する基礎的な知識と実習を通じて利用技能を身につける。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	データベースのモデル化		1					
2	〃		2					
3	データベース設計		3					
4	〃		4					
5	データの正規化		5					
6	〃		6					
7	SQL の基本		7					
8	〃		8					
9	SQL の応用		9					
10	〃		10					
11	データベースの演算		11					
12	データベース管理システム		12					
13	データベース応用		13					
14	〃		14					
15	期末試験		15					
授業方法 (授業の進め方)	教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。							
到達目標	情報処理技術者 基本情報技術者試験レベルの知識と技能を身につけることを目標とする。							
成績評価の 方法と基準	期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。							
授業時間以外に 必要な学修	コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。							
履修に当たって の留意点	特にリレーショナルデータベースおよび SQL についてしっかり学習すること。 提出物は指定期日までに必ず提出すること。							

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	情報マネジメント	英文名	Information Management				学科科目 番号	1106
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	1 単位
教材 教具	IT 戦略とデータ利活用（ウイネット）							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） 現代社会では情報システム無しには社会や組織の活動は立ち行かない。情報マネジメントでは、組織で扱う情報とそれを取り扱うプロセスを理解し、情報の信頼性とパフォーマンス、さらに組織のインテリジェンスを向上させ組織の価値を高める活動を理解する。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1	企業と経営戦略		1					
2	〃		2					
3	〃		3					
4	システム戦略		4					
5	〃		5					
6	〃		6					
7	ビジネスインダストリ(IoT)		7					
8	〃		8					
9	〃		9					
10	マネジメント		10					
11	〃		11					
12	〃		12					
13	業務分析・データ利活用		13					
14	企業会計		14					
15	期末試験		15					
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		情報処理技術者 基本情報技術者試験レベルの知識と技能を身につけることを目標とする。						
成績評価の 方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		企業活動を理解する。 提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	Office	英文名	Office				学科科目 番号	1107
担当者	平石 明香	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	よくわかる Microsoft Word 2021 & Microsoft Excel 2021 Office 2021／Microsoft 365 対応（FOM 出版）							
担当者 の実務 経験	ソフトウェア開発会社で S E、P G。独立後ソフトウェア開発や Web サイトの作成、講師など。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） さまざまな課題の演習を通じて、ドキュメント作成の手順や Word の機能を学ぶ。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1	Word の概要		1					
2	〃		2					
3	〃		3					
4	文書を作成しよう		4					
5	〃		5					
6	〃		6					
7	表現力のある文書を作成しよう		7					
8	〃		8					
9	〃		9					
10	表のある文書を作成しよう		10					
11	〃		11					
12	〃		12					
13	表に書式を設定する		13					
14	〃		14					
15	期末課題		15					
授業方法 （授業の進め方）		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		Word の基本機能を使って文書が作成できる。						
成績評価の 方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト、提出物：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	システム設計	英文名	System Design				学科科目 番号	1108
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	1 単位
教材 教具	コンピュータ概論（ウイネット）							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） システム開発の基本的な手順・ツール・工程管理を学習する。基本情報処理検定等に出題される内容が、実際の業務の中では、どのような作業として反映されるかを理解する。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1	システムの構成要素		1					
2	〃		2					
3	〃		3					
4	〃		4					
5	〃		5					
6	ソフトウェア		6					
7	〃		7					
8	〃		8					
9	〃		9					
10	マルチメディア		10					
11	〃		11					
12	〃		12					
13	AI(人工知能)		13					
14	〃		14					
15	期末試験		15					
授業方法 (授業の進め方)	教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。							
到達目標	情報処理技術者 基本情報技術者試験レベルの知識と技能を身につけることを目標とする。							
成績評価の 方法と基準	期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。							
授業時間以外に 必要な学修	コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。							
履修に当たって の留意点	システム開発をシミュレーションしてみる。 提出物は指定期日までに必ず提出すること。							

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	情報数学	英文名	Information Mathematics				学科科目 番号	1109
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）		後期： 45 時間（回数： 回）			単位数	1 単位
教材 教具	日本統計学会公式認定 統計検定 4 級対応 データの活用（日本統計学会）							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） 統計を活用するために必要な考え方を習得する。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1				1	統計の役割			
2				2	〃			
3				3	〃			
4				4	データのばらつきの表し方			
5				5	〃			
6				6	〃			
7				7	時系列データの基本的な見方			
8				8	〃			
9				9	〃			
10				10	確率の基礎			
11				11	〃			
12				12	〃			
13				13	標本調査——データの集め方			
14				14	〃			
15				15	期末試験			
授業方法 （授業の進め方）		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		統計の初級を理解し、活用していくための考え方を身に着ける。						
成績評価の 方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	情報セキュリティ	英文名	Information Security				学科科目 番号	1110
担当者	平石 明香	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	1 単位
教材 教具	システム開発と情報技術（ウイネット）							
担当者 の実務 経験	ソフトウェア開発会社でSE、PG。独立後ソフトウェア開発やWebサイトの作成、講師など。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） 情報システムに必要な情報セキュリティ対策や組織が定めた情報セキュリティ諸規程の目的・内容を適切に理解し、情報及び情報システムを安全に活用するために、情報セキュリティが確保された状況を実現し、維持・改善することができるようになる。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1			1	情報セキュリティ				
2			2	〃				
3			3	システムへの攻撃手法				
4			4	〃				
5			5	暗号化技術				
6			6	〃				
7			7	認証技術				
8			8	〃				
9			9	セキュリティ技術				
10			10	〃				
11			11	セキュリティリスク				
12			12	〃				
13			13	セキュリティ管理				
14			14	〃				
15			15	期末試験				
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確 認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		情報処理技術者 基本情報技術者試験レベルの知識と技能を身につけることを目標と する。						
成績評価の 方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索 を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点 は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		知識や技術だけでなく、身近な脅威から身を守るために対策できるようになる。 提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	知的所有権	英文名	Intellectual property rights				学科科目番号	1111
担当者	平石 明香	実務経験の有無	有	選択必修	必修	科目区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	1 単位
教材 教具	ビジネス著作権検定® BASIC 初級 公式テキスト（ウイネット）							
担当者の実務 経験	ソフトウェア開発会社でS E、P G。独立後ソフトウェア開発やWeb サイトの作成、講師など。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） ビジネス実務、日常生活においてますます必要とされる著作権に関する知識および関連する知識について、その基礎的な理解、具体的な裁判例・ビジネス実務における慣例を基準とする事例判断での応用力をつける。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1			1	著作権の概要				
2			2	著作物				
3			3	著作者				
4			4	著作者の権利				
5			5	保護期間				
6			6	著作権の譲渡と利用許諾				
7			7	著作権の制限				
8			8	著作隣接権				
9			9	著作権の侵害				
10			10	知的財産権制度				
11			11	情報社会と情報モラル				
12			12	確認問題				
13			13	〃				
14			14	〃				
15			15	期末試験				
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		ビジネス著作権検定初級の知識と技能を身につけることを目標とする。						
成績評価の方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たっての留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

学科名 (ICT ライセンス学科)

科目名	資格対策	英文名	Intellectual property rights				学科科目 番号	1112
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	令和 07 年 基本情報技術者 合格教本（技術評論社）							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） 基本情報技術者試験合格に向けて学習する。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1			1	基礎理論				
2			2	コンピュータシステム				
3			3	技術要素				
4			4	開発技術				
5			5	プロジェクトマネジメント				
6			6	サービスマネジメント				
7			7	システム戦略				
8			8	経営戦略				
9			9	企業と法務				
10			10	過去問題答練				
11			11	〃				
12			12	〃				
13			13	〃				
14			14	〃				
15			15	期末試験				
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネット（DEKIDAS-WEB 利用）で自主学習する。過去問題を解き、試験に慣れる。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		基本情報技術者試験を受験に向けて知識を身に着ける。						
成績評価の 方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	クラウド概論	英文名	Cloud Introduction				学科科目番号	1113
担当者	法華 秀幸	実務経験の有無	有	選択必修	必修	科目区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	図解まるわかり クラウドのしくみ（翔泳社）							
担当者の実務経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】科目のねらい（目的） クラウドシステムは情報通信技術の基盤として不可欠である。そのため、「クラウドがわかれば IT がわかる」といっても過言ではない。本授業では、クラウドの仕組みや技術、運用方法、トレンドなどを学習する。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1			1	クラウドの基本～特徴・種類・システム構成～				
2			2	〃				
3			3	クラウドからシステムを考える時代に～クラウドはシステムの基盤～				
4			4	〃				
5			5	クラウドで何が変わる？～業務からコストまで～				
6			6	〃				
7			7	クラウドを構築する技術～こうしてクラウドは機能している～				
8			8	〃				
9			9	クラウドを動かす技術～こうしてクラウドは動いている～				
10			10	〃				
11			11	クラウドのセキュリティ～概要と対策～				
12			12	〃				
13			13	クラウドの導入～環境を整える～				
14			14	クラウドの導入に向けて～準備しておくこと～				
15			15	期末試験				
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		クラウド全体の概要やクラウドのイメージ、クラウドに関わる技術と機器の役割を知り、現場の実態や出来事など、最新動向についても理解する。						
成績評価の方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たっての留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	Linux 基礎		英文名	Basic Linux			学科科目 番号	1114
担当者	法華 秀幸		実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）		後期： 時間（回数： 回）		単位数		2 単位
教材 教具	Linux 教科書 LinuC レベル 1 Version 10.0 対応（翔泳社）							
担当者 の実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】科目のねらい（目的） Linux の基本的な使い方を学習し、Linux 技術者認定資格である「LinuC レベル 1 」の 101 試験レベルの知識と技術を身に着ける。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1				1	Linux のインストールと仮想マシン・コンテナの利用			
2				2	"			
3				3	"			
4				4	"			
5				5	ファイル・ディレクトリの操作と管理			
6				6	"			
7				7	"			
8				8	GNU と Unix のコマンド			
9				9	"			
10				10	"			
11				11	リポジトリとパッケージ管理			
12				12	"			
13				13	ハードウェア、ディスク、パーティション、ファイルシステム			
14				14	"			
15				15	期末試験			
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		Linux 技術者認定資格「LinuC レベル 1 」の 101 試験レベルの知識と技能を身につけることを目標とする。						
成績評価の 方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	Python 基礎	英文名	Basic Python				学科科目 番号	1201
担当者	平石 明香	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	Python【基礎編】ワークブック（カットシステム）							
担当者 の実務 経験	ソフトウェア開発会社で S E、P G。独立後ソフトウェア開発や Web サイトの作成、講師など。							
【学修内容】科目のねらい（目的） 基本情報技術者試験に新たに追加された Python の基礎文法を解説と演習問題で効率良く学習する。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1	Python とは(スクーリング①)		1					
2	変数		2					
3	組み込み型(スクーリング②)		3					
4	条件分岐		4					
5	繰り返し		5					
6	関数(スクーリング③)		6					
7	〃		7					
8	クラス(スクーリング④)		8					
9	〃		9					
10	モジュール(スクーリング⑤)		10					
11	入出力(スクーリング⑥)		11					
12	〃		12					
13	〃		13					
14	ライブラリ(スクーリング⑦)		14					
15	演習問題(スクーリング⑧)		15					
授業方法 (授業の進め方)	教科書やインターネットで自主学習する。スクーリングで実習を行い、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。							
到達目標	オブジェクト指向プログラミングを理解し、簡単なプログラムが書ける。 基本情報技術者試験合格レベルを目標とする。							
成績評価の 方法と基準	実習課題：70% 出席：30% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。							
授業時間以外に 必要な学修	コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。							
履修に当たって の留意点								

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	HTML/CSS		英文名	HTML/CSS				学科科目番号	1202
担当者	平石 明香		実務経験の有無	有	選択必修	必修	科目区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位	
教材 教具	情報演習 35 ステップ 30 HTML/CSS ワークブック第 2 版（カットシステム）								
担当者の実務 経験	ソフトウェア開発会社で S E、P G。独立後ソフトウェア開発や Web サイトの作成、講師など。								
【学修内容】科目のねらい（目的） HTML と CSS を基本から学び、美しいデザインの Web サイトが制作できるように学習する。									
【授業計画】 コマシラバス（前 期）					コマシラバス（後 期）				
1	HTML ファイルと Web サーバー（スクーリング①）			1					
2	〃			2					
3	HTML 基礎（スクーリング②）			3					
4	〃			4					
5	CSS 基礎（スクーリング③）			5					
6	〃			6					
7	フレックスボックスを使った配置（スクーリング④）			7					
8	〃			8					
9	グループ化とセルの結合（スクーリング⑤）			9					
10	〃			10					
11	ページレイアウトの作成（スクーリング⑥）			11					
12	インラインフレームの作成（スクーリング⑦）			12					
13	演習問題（スクーリング⑧）			13					
14	〃			14					
15	〃			15					
授業方法 （授業の進め方）		教科書やインターネットで自主学習する。またスクーリングで実習を行い、課題を提出する。不明点は SNS を活用して質問する。							
到達目標		HTML と CSS を理解し、Web ページが作成できる。							
成績評価の方法と基準		実習課題：70% 出席：30% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。							
授業時間以外に必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。							
履修に当たっての留意点									

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	JavaScript	英文名	JavaScript				学科科目 番号	1203
担当者	平石 明香	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	情報演習 36 ステップ 30 JavaScript ワークブック 第 3 版（カットシステム）							
担当者 の実務 経験	ソフトウェア開発会社で S E、P G。独立後ソフトウェア開発や Web サイトの作成、講師など。							
【学修内容】科目のねらい（目的） JavaScript を利用するとどのようなことができるか理解し、Web ページに導入して動作させる。 JavaScript の基本文法を理解する。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1			1	JavaScript の記述ルール（スクーリング①）				
2			2	〃				
3			3	イベントハンドラ				
4			4	〃				
5			5	関数の基本				
6			6	〃				
7			7	オブジェクト、メソッド、プロパティ				
8			8	〃				
9			9	イベントリスナー				
10			10	js ファイルの分離とエラー対策				
11			11	演習問題（スクーリング②）				
12			12	〃				
13			13	〃				
14			14	〃				
15			15	〃				
授業方法 （授業の進め方）		教科書やインターネットで自主学習する。またスクーリングで実習を行い、課題を提出する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		JavaScript とはどのようなものか理解する。						
成績評価の 方法と基準		実習課題：70% 出席：30% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点								

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	Java 基礎	英文名	Basic Java				学科科目 番号	1204
担当者	平石 明香	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	情報演習 8 ステップ 30 Java ワークブック（カットシステム）							
担当者 の実務 経験	ソフトウェア開発会社で S E、P G。独立後ソフトウェア開発や Web サイトの作成、講師など。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） オブジェクト指向プログラミングの基本的な考え方を習得する。Java の基本文法をもちいて簡単な Java プログラミングの作成ができる。								
【授業計画】			コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）		
1			1	プログラムの作成（スクーリング①）				
2			2	〃				
3			3	数値と変数（基本データ型）（スクーリング②）				
4			4	〃				
5			5	文字と文字列（スクーリング③）				
6			6	〃				
7			7	配列（スクーリング④）				
8			8	〃				
9			9	制御文（スクーリング⑤）				
10			10	〃				
11			11	クラス（スクーリング⑥）				
12			12	〃				
13			13	演習問題				
14			14	〃				
15			15	〃				
授業方法 （授業の進め方）		教科書やインターネットで自主学習する。またスクーリングで実習を行い、課題を提出する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		オブジェクト指向プログラミングを理解し、簡単なプログラムが書ける。						
成績評価の 方法と基準		実習課題：70% 出席：30% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点								

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	Web ページ制作	英文名	Web Design				学科科目 番号	1205
担当者	平石 明香	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	情報演習 35 ステップ 30 HTML/CSS ワークブック第 2 版（カットシステム）							
担当者 の実務 経験	電気メーカー系ソフトウェア企業にてシステム企画・設計及びソフトウェア開発							
【学修内容】 科目のねらい（目的） これまでに学習した HTML/CSS および JavaScript を使って、自分の Web ページを制作する。								
【授業計画】			コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）		
1			1	Web ページテーマ決定				
2			2	Web ページ設計（スクーリング①）				
3			3	〃				
4			4	〃				
5			5	素材集め（スクーリング②）				
6			6	Web ページ制作（スクーリング③）				
7			7	〃				
8			8	〃				
9			9	〃（スクーリング④）				
10			10	〃				
11			11	〃				
12			12	〃（スクーリング⑤）				
13			13	〃				
14			14	〃				
15			15	作品発表（スクーリング⑥）				
授業方法 （授業の進め方）		教科書やインターネットで自主学習する。またスクーリングで実習を行い、課題を提出する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		HTML と CSS を理解し、Web ページが作成できる。						
成績評価の 方法と基準		実習課題：70% 出席：30% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点								

学科名 (ICT ライセンス学科)

科目名	ビジネス数学 I	英文名	business mathematics I				学科科目 番号	1301
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	1 単位
教材 教具	実践 ビジネス数学検定 3 級（日経 BP）							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） ビジネスパーソンに必要な数学力・数学技能を学習する。ビジネスで特に必要とされる数理的な考え方を「把握力」「分析力」「選択力」「予測力」「表現力」の 5 つの力に分類し、さまざまなビジネスシーンを想定した問題を通して学習していく。								
【授業計画】			コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）		
1	把握力		1					
2	〃		2					
3	分析力		3					
4	〃		4					
5	選択力		5					
6	〃		6					
7	予測力		7					
8	〃		8					
9	表現力		9					
10	〃		10					
11	過去問題答練		11					
12	〃		12					
13	〃		13					
14	〃		14					
15	期末試験		15					
授業方法 （授業の進め方）		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		ビジネス数学検定 3 級合格程度の知識につけることを目標とする。						
成績評価の 方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	文章表現力 I	英文名	writing ability I				学科科目 番号	1302
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	1 単位
教材 教具	（教材なし）							
担当者 の実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） 進路決定に向けて目標を定め、業界研究を行い、自身の考えを文章として表現する。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1			1	目標設定				
2			2	〃				
3			3	〃				
4			4	業界研究				
5			5	〃				
6			6	〃				
7			7	職業研究				
8			8	〃				
9			9	〃				
10			10	企業研究				
11			11	〃				
12			12	〃				
13			13	レポート作成				
14			14	〃				
15			15	〃				
授業方法 （授業の進め方）		書籍やインターネットで自主学習する。目標設定を行い、業界や職種について調査し、自身の考えをレポートにまとめる。不明点は SNS で問い合わせる。						
到達目標		業界や職種についての理解を深め、進路決定の参考にする。またその内容を文章にまとめる。						
成績評価の 方法と基準		課題提出：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。説明会やセミナーに参加し理解を深める。 不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	ネットワーク応用	英文名	Advanced Network				学科科目 番号	2101
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	令和 07 年 基本情報技術者 合格教本(技術評論社)							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） OSI 参照モデルの理解や TCP/IP でどのようにデータのやりとりをしているか、ネットワーク通信上のデータ構造はどのようなになっているのか学習。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1	ネットワーク方式と制御データ		1					
2	〃		2					
3	〃		3					
4	ネットワークアーキテクチャ		4					
5	〃		5					
6	〃		6					
7	〃		7					
8	通信プロトコル		8					
9	〃		9					
10	〃		10					
11	IP アドレスの役割と機能		11					
12	〃		12					
13	ネットワーク管理		13					
14	〃		14					
15	期末試験		15					
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		情報処理技術者 基本情報技術者試験レベルの知識と技能を身につけることを目標とする。						
成績評価の方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト、提出物：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たっての留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	データベース応用	英文名	Advanced Database				学科科目 番号	2102
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）		後期： 時間（回数： 回）			単位数	2 単位
教材 教具	令和 07 年 基本情報技術者 合格教本（技術評論社）							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） 基本情報技術者試験のデータベース分野の内容を学びます。 リレーショナルデータベースの問合わせ等に用いられる SQL 言語の文法を学習し、データベース分野の問題に解答することができるよう学習を進めていきます。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	データベース方式			1				
2	〃			2				
3	〃			3				
4	〃			4				
5	データベース設計			5				
6	〃			6				
7	〃			7				
8	〃			8				
9	データベースの操作			9				
10	〃			10				
11	トランザクション処理			11				
12	〃			12				
13	データベースの応用			13				
14	〃			14				
15	期末試験			15				
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		基本情報技術者試験レベルの知識と技能を身につけることを目標とする。						
成績評価の 方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	Linux 応用		英文名	Advanced Linux			学科科目 番号	2103
担当者	法華 秀幸		実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）			単位数	2 単位	
教材 教具	Linux 教科書 LinuC レベル 1 Version 10.0 対応(翔泳社)							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） Linux の基本的な使い方を学習し、Linux 技術者認定資格である「 LinuC レベル 1 」の 102 試験レベルの知識と技術を身に着ける。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	シェルとシェルスクリプト			1				
2	"			2				
3	"			3				
4	ネットワークの基礎			4				
5	"			5				
6	"			6				
7	システム管理			7				
8	"			8				
9	"			9				
10	"			10				
11	必須システムサービス			11				
12	"			12				
13	セキュリティ			13				
14	"			14				
15	期末試験			15				
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		Linux 技術者認定資格「 LinuC レベル 1 」の 102 試験レベルの知識と技能を身につけることを目標とする。						
成績評価の 方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	モバイルプログラミング	英文名	Mobile Programming				学科科目 番号	2104
担当者	平石 明香	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	HTML5 プロフェッショナル認定試験 レベル 1 対策テキスト&問題集 Ver2.5 対応版（マイナビ出版）							
担当者の 実務 経験	ソフトウェア開発会社で S E、P G。独立後ソフトウェア開発や Web サイトの作成、講師など。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） HTML/CSS を使ったウェブデザインの基礎知識を学び、認定資格である「HTML5 プロフェッショナル認定試験 レベル 1」レベルの知識を身につける学習内容である。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1	HTML5 の基礎知識		1					
2	"		2					
3	"		3					
4	CSS の基礎知識		4					
5	"		5					
6	"		6					
7	レスポンシブ Web デザイン		7					
8	"		8					
9	"		9					
10	"		10					
11	API 概要		11					
12	"		12					
13	Web 関連の規格と技術		13					
14	"		14					
15	期末試験		15					
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		「HTML5 プロフェッショナル認定試験 レベル 1」レベルの知識と技能を身につけることを目標とする。						
成績評価の方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たっての留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	CMS		英文名	CMS			学科科目 番号	2105
担当者	法華 秀幸		実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）		後期： 時間（回数： 回）			単位数	2 単位
教材 教具	(教科書なし)							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） 模擬問題を解きながら、PHP 技術者認定初級試験の知識を身に着ける。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1				1	PHP の基本			
2				2	"			
3				3	演算子			
4				4	"			
5				5	制御文			
6				6	"			
7				7	組み込み関数			
8				8	"			
9				9	ユーザ定義関数			
10				10	"			
11				11	クラスライブラリ			
12				12	"			
13				13	リクエスト情報			
14				14	オブジェクト指向構文			
15				15	期末試験			
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		PHP 技術者認定初級試験レベルの知識を身に着ける。						
成績評価の 方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	人工知能	英文名	Artificial Intelligence				学科科目 番号	2106
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	（教科書なし）							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） 最新の AI 技術の動向や活用事例を自身で調査し、社会がどのように変化していき、どのような未来が訪れるか、自分で考えまとめる。								
【授業計画】			コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）		
1			1	AI 技術の状況を調査				
2			2	〃				
3			3	〃				
4			4	〃				
5			5	AI の活用事例の調査				
6			6	〃				
7			7	〃				
8			8	〃				
9			9	AI がもたらす社会的影響の調査				
10			10	〃				
11			11	〃				
12			12	調査結果をまとめる				
13			13	〃				
14			14	レポート作成				
15			15	〃				
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		AI によって変化していく社会について自分の考えを論じることができる。						
成績評価の 方法と基準		課題提出：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	仮想化技術	英文名	Virtualization Technology				学科科目 番号	2107
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	図解即戦力 仮想化&コンテナがこれ1冊でしっかりわかる教科書(技術評論社)							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） 仮想化の種類やメリット、デメリットを学び、仮想化の技術のひとつであるコンテナ技術を学習します。								
【授業計画】			コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）		
1			1	仮想化の基礎知識				
2			2	〃				
3			3	仮想化のしくみと技術				
4			4	〃				
5			5	〃				
6			6	コンテナ技術の基礎知識				
7			7	〃				
8			8	〃				
9			9	コンテナ型仮想化ソフトウェア				
10			10	〃				
11			11	〃				
12			12	コンテナオーケストレーション				
13			13	〃				
14			14	クラウドのコンテナサービス				
15			15	期末試験				
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		仮想化とはどのような仕組みなのか理解する。						
成績評価の 方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	ビッグデータ	英文名	Big Data				学科科目 番号	2108
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	図解即戦力 ビッグデータ分析のシステムと開発がこれ1冊でしっかりわかる教科書(技術評論社)							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） ビッグデータを分析とはどういうことか学び、分析の仕組みを学習します。またビッグデータの収集、蓄積、活用の流れを学習します。								
【授業計画】			コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）		
1			1	ビッグデータ分析の全体像		1	ビッグデータ分析の全体像	
2			2	ビッグデータ分析システムのアーキテクチャ		2	ビッグデータ分析システムのアーキテクチャ	
3			3	〃		3	〃	
4			4	分散処理の基礎		4	分散処理の基礎	
5			5	〃		5	〃	
6			6			6		
7			7	機械学習の基礎		7	機械学習の基礎	
8			8	〃		8	〃	
9			9			9		
10			10	ビッグデータの収集		10	ビッグデータの収集	
11			11	ビッグデータの蓄積		11	ビッグデータの蓄積	
12			12	ビッグデータの活用		12	ビッグデータの活用	
13			13	〃		13	〃	
14			14	メタデータ管理		14	メタデータ管理	
15			15	期末試験		15	期末試験	
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		ビッグデータの収集、蓄積、活用の流れを理解する。						
成績評価の方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たっての留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の 1 単位時間は 45 分とする

科目名	機械学習	英文名	Machine Learning				学科科目 番号	2109
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）		後期： 時間（回数： 回）		単位数	2 単位	
教材 教具	図解即戦力 機械学習&ディープラーニングのしくみと技術がこれ1冊でしっかりわかる教科書(技術評論社)							
担当者 の実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） 機械学習やディープラーニングはどのようなものか、アルゴリズムも含めて学習する。また機械学習を取り入れたシステムを開発するために環境をどのように整えるか学ぶ。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1				1	人工知能の基礎知識			
2				2	〃			
3				3	機械学習の基礎知識			
4				4	〃			
5				5	〃			
6				6	機械学習のプロセス			
7				7	〃			
8				8	〃			
9				9	機械学習のアルゴリズム			
10				10	〃			
11				11	ディープラーニングの基礎知識			
12				12	〃			
13				13	ディープラーニングのプロセス			
14				14	ディープラーニングのアルゴリズム			
15				15	期末試験			
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		機械学習の仕組みを理解し、システム開発をするうえでの環境設定を理解する。						
成績評価の 方法と基準		期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	Java 応用	英文名	Advanced Java				学科科目 番号	2201
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	3 単位
教材 教具	スッキリわかる Java 入門 第4版（インプレス）							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） オブジェクト指向プログラミングの考え方を理解し、Java プログラムを作成できる。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1	オブジェクト指向をはじめよう（スクーリング①）		1					
2	インスタンスとクラス		2					
3	〃		3					
4	さまざまなクラス機構		4					
5	〃		5					
6	カプセル化（スクーリング②）		6					
7	〃		7					
8	継承		8					
9	〃		9					
10	高度な継承（スクーリング③）		10					
11	〃		11					
12	多態性		12					
13	例外		13					
14	演習問題		14					
15	〃		15					
授業方法 （授業の進め方）		教科書やインターネットで自主学習する。またスクーリングで実習を行い、課題を提出する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		オブジェクト指向の考え方を学習し、オブジェクト指向を用いたプログラミングができるようになる						
成績評価の 方法と基準		実習課題：70% 出席：30% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点								

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	Python 応用	英文名	Advanced Python				学科科目 番号	2202
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）		後期： 時間（回数： 回）			単位数	2 単位
教材 教具	情報演習 34 ステップ 30 Python[応用編]ワークブック(カットシステム)							
担当者 の実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） Python で役に立つプログラムを作成したり、データを様々な形で利用したり操作する方法を習得する。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1	乱数(スクーリング①)		1					
2	データのグラフ化		2					
3	〃		3					
4	関数のグラフ		4					
5	〃		5					
6	統計値を求める		6					
7	〃		7					
8	データの読み書き(スクーリング②)		8					
9	〃		9					
10	データベースの基礎		10					
11	〃		11					
12	演習問題(スクーリング③)		12					
13	〃		13					
14	〃		14					
15	〃		15					
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。またスクーリングで実習を行い、課題を提出する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		Python でデータ操作を行うプログラムが作れるようになる。						
成績評価の 方法と基準		実習課題：70% 出席：30% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点								

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	サーバー構築	英文名	Server Construction				学科科目 番号	2203
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	ゼロからはじめる Linux サーバー構築・運用ガイド動かしながら学ぶ Web サーバーの作り方(翔泳社)							
担当者の 実務 経験	食品製造会社でのシステム開発。後に IT スクールにて法人研修講師として IT 技術の指導。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） Linux の基礎からセキュリティまで、Web サーバーを運用するために身に付けるべき知識を学習します。基本的なコマンドやネットワーク、実用的な Web サーバー構築演習として LAMP の技術を学びます。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1	Linux とは（スクーリング①）		1					
2	基本的なコマンド		2					
3	〃		3					
4	ネットワーク設定の基礎		4					
5	〃		5					
6	サーバーの構築について		6					
7	〃		7					
8	Web ページのアップロード（スクーリング②）		8					
9	〃		9					
10	LAMP サーバーについて		10					
11	〃		11					
12	〃		12					
13	セキュリティのポイン		13					
14	〃		14					
15	〃		15					
授業方法 （授業の進め方）	教科書やインターネットで自主学習する。またスクーリングで実習を行い、課題を提出する。不明点は SNS を活用して質問する。							
到達目標	Web サーバーを運用するために身に付けるべき知識の習得。							
成績評価の 方法と基準	実習課題：70% 出席：30% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。							
授業時間以外に 必要な学修	コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。							
履修に当たって の留意点								

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	PHP		英文名	PHP			学科科目 番号	2204
担当者	法華 秀幸		実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）			単位数	2 単位	
教材 教具	いきなりはじめる PHP 改訂版—— 新・ワクワク・ドキドキの入門教室(リックテレコム)							
担当者 の実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） サーバーサイドのスクリプト言語である PHP の基礎文法を学習し、簡単なプログラミングの作成ができる。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1			1	PHP のはじめかた(スクーリング①)				
2			2	〃				
3			3	Web サーバーについての理解				
4			4	〃				
5			5	HTML 基礎				
6			6	PHP の基礎				
7			7	変数				
8			8	制御文				
9			9	関数の基本(スクーリング②)				
10			10	〃				
11			11	データベース基礎				
12			12	SQL 基礎				
13			13	Web アプリ開発基礎(スクーリング③)				
14			14	演習問題				
15			15	〃				
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。またスクーリングで実習を行い、課題を提出する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		PHP の基礎文法を学習し、簡単なプログラムを作成できる。						
成績評価の 方法と基準		実習課題：70% 出席：30% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点								

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	アプリケーション構築	英文名	Application Building				学科科目 番号	2205
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	気づけばプロ並み PHP 改訂版一ゼロから作れる人になる!(リックテレコム)							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） PHP を使ってショッピングサイトの構築を進める中で、システム開発に必要な力を身に付ける。								
【授業計画】			コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）		
1			1	ショッピングカート機能作成(スクーリング①)				
2			2	〃				
3			3	〃				
4			4	〃				
5			5	注文機能作成				
6			6	〃				
7			7	〃				
8			8	〃				
9			9	注文管理機能作成(スクーリング②)				
10			10	〃				
11			11	〃				
12			12	会員登録機能作成				
13			13	〃				
14			14	〃				
15			15	ショッピングサイト完成				
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。またスクーリングで実習を行い、課題を提出する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		PHP を使ったショッピングサイトの完成。						
成績評価の 方法と基準		実習課題：70% 出席：30% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点								

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	サーバーサイドプログラミング	英文名	Server Side Programming				学科科目 番号	2206
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・実習	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	2 単位
教材 教具	気づけばプロ並み PHP 改訂版ーゼロから作れる人になる!(リックテレコム)							
担当者 の実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） PHP を使ってショッピングサイトの構築を進める中で、システム開発に必要な力を身に付ける。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1			1	開発準備(スクーリング①)				
2			2	〃				
3			3	データベースの作成				
4			4	〃				
5			5	管理画面作成				
6			6	〃				
7			7	〃				
8			8	商品追加画面作成(スクーリング②)				
9			9	〃				
10			10	商品検索機能作成				
11			11	ログイン機能作成(スクーリング③)				
12			12	〃				
13			13	〃				
14			14	ユーザー認証機能作成				
15			15	〃				
授業方法 (授業の進め方)		教科書やインターネットで自主学習する。またスクーリングで実習を行い、課題を提出する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		PHP を使った Web アプリケーションの開発手法を理解する。						
成績評価の 方法と基準		実習課題：70% 出席：30% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点								

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	ビジネス数学Ⅱ	英文名	business mathematicsⅡ				学科科目 番号	2301
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）	後期： 時間（回数： 回）				単位数	1 単位
教材 教具	実践 ビジネス数学検定 2 級（日経 BP）							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】科目のねらい（目的） ビジネスパーソンに必要な数学力・数学技能を学習する。ビジネスで特に必要とされる数理的な考え方を「把握力」「分析力」「選択力」「予測力」「表現力」の 5 つの力に分類し、さまざまなビジネスシーンを想定した問題を通して学習していく。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）			コマシラバス（後 期）					
1	把握力	1						
2	〃	2						
3	分析力	3						
4	〃	4						
5	選択力	5						
6	〃	6						
7	予測力	7						
8	〃	8						
9	表現力	9						
10	〃	10						
11	過去問題答練	11						
12	〃	12						
13	〃	13						
14	〃	14						
15	期末試験	15						
授業方法 （授業の進め方）	教科書やインターネットで自主学習する。単元毎に確認テストを実施し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。							
到達目標	ビジネス数学検定 2 級合格程度の知識につけることを目標とする。							
成績評価の 方法と基準	期末考査、随時行う確認テスト：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。							
授業時間以外に 必要な学修	コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。							
履修に当たって の留意点								

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (ICT ライセンス学科)

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	文章表現力Ⅱ	英文名	Writing AbilityⅡ				学科科目 番号	2302
担当者	法華 秀幸	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目・講義	
開講期	通年	前期： 時間（回数： 回）		後期： 時間（回数： 回）			単位数	1 単位
教材 教具	（教材なし）							
担当者の 実務 経験	SE として主に下流工程業務に従事し、また IT 技術研修講師などの経験をもとに指導する。							
【学修内容】 科目のねらい（目的） 採用試験の筆記で出題されることが多い小論文および作文試験の対策を行う。 テーマに基づいて文章を作成する。								
【授業計画】 コマシラバス（前 期）				コマシラバス（後 期）				
1			1	テーマ①出題				
2			2	必要な情報調べる				
3			3	〃				
4			4	〃				
5			5	自分の考えと情報をまとめる				
6			6	〃				
7			7	下書き				
8			8	清書				
9			9	テーマ②出題				
10			10	必要情報をまとめる				
11			11	〃				
12			12	自分の考えと情報をまとめる				
13			13	〃				
14			14	下書き				
15			15	清書				
授業方法 （授業の進め方）		教科書やインターネットで自主学習する。単元毎にワークノートを提出し、理解度を確認する。不明点は SNS を活用して質問する。						
到達目標		採用試験で出題される小論文および作文試験の対策を行い就職につなげる。						
成績評価の 方法と基準		課題提出：100% 以上の項目で評価点を 100 点法で算出し、60 点以上を認定する。						
授業時間以外に 必要な学修		コマシラバスに従って計画的に学習する。教科書での学習以外にインターネット検索を使って知識を広げる。確認テストで不正解になった問題については復習し、不明点は SNS で問い合わせる。						
履修に当たって の留意点		提出物は指定期日までに必ず提出すること。						